

# 令和4年度 福岡県スポーツ大会並びに

## 福岡県銃剣道選手権大会要項

1 日 時 令和4年12月11日(日)午前9時30分開始

(選手・役員は午前9時集合)

2 会 場 陸上自衛隊飯塚駐屯地体育館

3 主 催 福岡県銃剣道連盟

4 主 管 筑豊地区銃剣道連盟

5 選手の推薦

(1) 監督・選手は福岡県銃剣道連盟会員で令和3年度会費納入済の者とする。

(2) 年齢の基準は大会前日(12月10日)とする。

6 試合区分

(1) 銃剣道の部 団体戦

① 一般の部

一般の選手3名を一個チームとし、出場チーム数は制限しない。

② 職域Aの部

連隊及び施設群の選手5名を一個チームとし、各部隊からの出場は3個チーム以内とする。

③ 職域Bの部

職域A以外の部隊で選手5名を一個チームとし、各部隊からの出場は2個チーム以内とする。

(2) 銃剣道の部 個人戦

① 一般の部

A 少年の部 B 女子の部(女子自衛官含む) C 54歳以下の部 D 55歳以上の部

② 職域Aの部 職域Bの部 各チームからの出場者は2名以内とする

(3) 短剣道の部 個人戦のみ実施(男子・女子)

一般・職域区分なく年齢・及び出場人員数に制限なく自由参加とする。

7 試合方法

(1) 銃剣道の部 短剣道の部(個人戦のみ)

① 団体戦 各区分のトーナメント戦により、優勝。準優勝・第3位を決定する。

② 個人戦 基準はトーナメント戦とし優勝。準優勝・第3位を決定する。

(2) 表彰区分 団体・個人の優勝。準優勝・第3位に賞状。賞品メダルを授与する。

8 注意事項

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策のマニュアルを熟読して大会に支障の無い様に各監督。参加者は準備して大会に参加して下さい、大会本部でも対策を致します。

(2) 試合者の服装は、「銃剣道試合・審判規則及び細則」第5条及び細則第4条の通りとする。なお、段位識別章を着用することを厳守すること。(少年は旧銃剣胴衣を着用可) 試合者が相互に礼をする時、ゼッケン、識別帯(袴着用は除く)段位識別章を装着していない場合は不戦負けとする事がある。

- (3) 各選手は垂れの中央部に「銃剣道教則」別図―5の名札を縫着するものとする。
- (4) 木銃は「銃剣道教則」別図―2を基準とする長木銃とし、突起部から40cmの位置と、そこから20cmの位置に幅約1cmの白テープまたは白の塗料で左手の握り幅を表示した木銃を使用するものとする。その際は、幅1cmの白テープまたは白の塗料の外側から先端のテープの外側が20cmになるように表示すること。
- (5) 前項で示す握り部位置表示または木銃の底部のキャップ装着目的以外のテープを巻いた異形の用具等は使用できない。
- (6) 各チームの監督は、その責任を明確にするための腕章を。右腕上部に装着すること。
- (7) 道場内での運動靴の使用は禁止する。
- (8) 各チームの「オーダー表」は大会本部で準備する。申し込み後のオーダーの入替は認めない。
- (9) 12月11日(日)0900より会場において、監督・審判会議を行う。
- (10) 今大会は、コロナ対策として選手が試合中は「フェイスシールド」の着用を求める場合があるので、各チームは準備されたい。また、試合外では、全員マスクの着用をする事とする。また、試合前後は手指の消毒を確実に行う。
- (11) 各チーム毎、必ずスポーツ障害保険に入る事。
- (12) 新型コロナウイルス感染防止対策の状況により、大会を中止する場合があります。

## 大会試合規則

- 1 「銃剣道試合・審判規則及び細則」、「短剣道試合・審判規則及び細則」並びに本大会・試合・審判規則により勝敗を決定する。
- 2 銃剣道の団体戦・個人戦、短剣道の個人戦共に3本勝負、試合時間は3分とし、勝負が決しない場合は、判定による、判定により勝敗を裁定する場合の基準は次の通りとする。
  - (1) 反則の有無により判定する。
  - (2) 有効に近い技の多少により判定する。
  - (3) 試合態度及び機先攻勢の度合いにより判定する。
- 3 団体戦は、定められた順序により各個人の試合を行い、勝者数の多いチームを勝ちとする。
- 4 試合中に身体の事故により試合続行が不可能となった場合は相手方の勝ちとし、相手方の反則による場合は相手方の負けとする。事故の場合は、審判長の許可を得て補欠の出場を認める。尚、医療上必要とするテーピングの使用は認めるが、サポーター等の使用は審判長の許可を得ること。
- 5 反則事項で接近流し時間は10秒を基準とする。一方が間合いを取ろうとするのに対し、片方が離れようとせず接近する場合は、接近する者を反則とする。
- 6 組み合わせ番号の若いチームの選手に赤色の識別布を付ける。
- 7 試合中の異議申し立ては、各チームの監督とする。
- 8 用具の装着を確実にし、各監督は整列前に点検する事。
- 9 用具の面の金具を開いたり、変形したりした物及び喉あてのない面は使用を禁止する。また肩のわき下とする。縦22cm以上、横16cm以上、袖の長さは渡皮を含め約10cm以上を基準とする。

## 大会審判規則

- 1 審判は、「銃剣道教則及び試合審判規則・細則」、「短剣道教則及び試合審判規則・細則」並びに本大会の大会試合規則により勝敗を決定する。
- 2 審判委員の構成は、主審1名、副審2名をもって構成する。
- 3 審判員の服装は、「銃剣道試合審判規則・細則」第31条による。但し、自衛官の審判員で服装基準を満たす事が困難の場合は、服装（靴下は白色）を認める。